

## 平成25年度 愛知高等養護学校 学校評価について

1 学校評価について：本年度開校した本校では、高等養護学校の意義と役割をふまえ、生徒の社会的・職業的自立に向けた教育活動を展開する中で、教育目標に基づき、重点的な目標を設定し、絶えず自己評価を行いつつ、よりよい学校づくりに取り組みました。

2 評価方法：重点目標を定め、それに伴う各領域において、重点評価項目を設定しました。各教育活動を推進する中で、この重点評価項目について、絶えず確認を行いました。まず、10月の中間期で、教員による自己評価を行い、これを中間評価としました。教員はこの評価を反省・分析しつつ、後期のよりよい教育活動の展開を進めました。1月には教員・保護者全員での評価を実施しました。この10月と1月の自己評価の結果をふまえ、2月に学校評議員による学校関係者評価を行いました。

・A B C Dの基準…A：肯定的な評価が75%以上 B：50%以上75%未満 C：25%以上50%未満 D：25%未満  
自己評価：教職員により評価するもの。学校関係者評価：保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価するもの。

3 学校評価総合評価結果：

本年度の重点目標	・基本的生活習慣を確立し、基礎学力の向上に努める。 ・愛知高等学校、高等養護学校両校の生徒が共に学び、共に生きる（ノーマライゼーション）心を育む。 ・愛知高等学校、高等養護学校両校の教職員が一体となって教育活動を推進する。 ・本校の教育活動を保護者や地域等に積極的に伝える。	中間評価(10月)	総合評価(教員・保護者(1月))				総合評価(3月)	
		教員自己評価	教員自己評価		保護者評価		自己評価	学校関係者評価
			肯定%	評価	肯定%	評価		
1 学校経営	生徒一人ひとりの個性を大切にしたい取組みができる、特色ある学校づくりを推進している。	A	87.5	A	90.9	A	A	A
	保護者・関係機関・地域社会との連携の下、地域に信頼される学校づくりを推進している。	A	100	A	90.9	A	A	A
2 教育課程・学習指導	年間計画に基づいて計画的に授業をおこない、生徒の特性を把握した授業の工夫に努めている。	B	62.5	B	80.0	A	B	B
	教科指導の充実のため研究、研修を推進し、教員一人ひとりの力量を高めるよう努めている。	B	75.0	A	70.0	B	A	B
3 生徒指導	個々の実態を的確に把握し、豊かな情操を養い、望ましい人間関係の醸成に努めている。	A	100	A	90.9	A	A	A
	社会的自立を確立する生活習慣・生活態度を身につけさせるよう努めている。	A	87.5	A	90.9	A	A	A
	ストップいじめアクションプランに基づき、いじめのない学校づくりに努めている。	A	87.5	A	90.9	A	A	A
4 進路指導	計画的な進路学習を進め、働くことの意義を考えさせその理解を深める指導をしている。	A	87.5	A	90.9	A	A	A
	地域・関係機関等と連携し、個に応じた進路指導を展開している。	A	87.5	A	81.8	A	A	A
5 保健・安全指導	生徒が自主的に健康管理ができるよう、支援と指導に努めている。	A	100	A	81.8	A	A	A
	交通ルールや社会的規範が守れるよう指導の充実を図っている。	A	87.5	A	90.9	A	A	A
6 人権教育	一人ひとりが大切にされ、明るく生き生きとしたクラスづくりに努めている。	A	100	A	90.9	A	A	A
	思いやりや協調性のある豊かな心を育て、人権感覚を高め磨く指導に努めている。	A	75.0	A	81.8	A	A	A
7 環境教育	自然環境・生活環境に関心を持ち、環境に配慮した生き方を育成している。	B	62.5	B	90.9	A	B	B
	教科学習や学校行事において、環境学習に取り組んでいる。	B	87.5	A	81.8	A	A	A
8 交流教育	部活動や学校行事などとおして、愛知高校生との積極的な交流に努めている。	A	75.0	A	66.7	B	A	A
	作業学習等を通じて積極的に地域に出かけ交流に努めている。	A	100	A	72.7	B	A	A
9 教職員の現職教育	愛知高校と連携して様々な職員研修に努めている。	A	87.5	A	50.0	B	A	A
	特別支援教育に係る専門性を高める研修に努めている。	C	62.5	B	66.7	B	B	B
10 センターの機能の発揮	特別支援教育の啓発と推進のための情報発信に努めている。	C	75.0	A	66.7	B	A	B
	特別支援教育コーディネーターを中心に、地域の要望にそった指導助言に努めている。	C	62.5	B	60.0	B	B	B
11 その他学校の取組み	生徒・職員が一致して、よりよい高等養護学校の校風作りに努めている。	A	100	A	90.9	A	A	A
	高等養護学校の教育実践を、県内の中学校・企業・関係機関等に発信している。	A	87.5	A	90.0	A	A	A

4 学校評価の分析と今後の課題等について：開校初年度であり、よりよい学校づくりのため全職員で取り組みました。教育課程の実施、学習指導の充実、生徒指導・進路指導の体制整備など学校の基本となる事項に努力しました。中間評価における教員自己評価では、概ね「がんばれている」という評価としましたが、自らの専門性を高める研修や特別支援学校のセンター的機能の発揮については、まだまだ十分でないという現状ではあります。後期においてはそれらの項目でも様々な取組みを行いました。保護者には行事やPTA活動等をおして本校教育に理解・協力をいただいております。また、学校評議員には様々な場で協力・助言をいただいております。学校関係者評価では本年度の取り組みについて概ね良好とする評価をいただきましたが、「地域の学校としてその活動に期待する」というお声をいただき、さらに前向きに取組みを進めたいと考えています。なにより子どもたちが安心していきいきと学べる学校として今後も努力していきたいと考えています。